平成27年度 第1回 美浜区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

【1】開 催

- 1 日 時：平成27年6月24日（水）午後3時～午後5時
- 2 会 場：美浜保健福祉センター4階 大会議室
- 3 出席者：委員定数 23名
出席委員 16名
事務局 14名
(傍聴人) なし

【2】次 第

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 会議の公開について
- 4 委員長あいさつ
- 5 報 告 (1)「美浜区地域福祉計画推進協議会設置要綱」の改正について
(2)「支え合いのまち千葉推進計画」計画書等の配付について
(3)地域包括ケア推進課の新設と業務について
- 6 議 題 (1)各地区部会エリアの重点取組項目について
(2)介護予防事業「いきいき体操」のモデル実施について
(3)美浜区認知症キッズサポーター養成について
- 7 その他
- 8 閉 会

【3】議事の要旨及び発言要旨

報告(1)「美浜区地域福祉計画推進協議会設置要綱」の改正について

資料1-1『「美浜区地域福祉計画推進協議会設置要綱」改正について』
資料1-2『美浜区支え合いのまち推進協議会設置要綱』により、事務局の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

○第3期市地域福祉計画の名称が、市民が主体となった助け合いの取り組みであることがイメージしやすく、未来志向であることを検討した結果、「支え合いのまち千葉推進計画」と決定された。これに伴い、区計画名は「美浜区支え合いのまち推進計画」となり、推進協議会も平成27年4月1日付で設置要綱を改正し、「美浜区支え合いのまち推進協議会」となった。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

ただいま説明がありました「美浜区支え合いのまち推進協議会設置要綱」の改正について、委員の方からご意見・ご質問がある方は、挙手をしてお名前をおっしゃった上で発言をお願いします。

(委員)

「支え合いのまち」という名称は福祉の計画に関しての名称だと思うが、千葉市では他の分野でもこのような名称、キャッチフレーズがあるのでしょうか。

(事務局)【地域福祉課】

名称自体はすぐには出てこないのですが、キャッチフレーズは他にもあります。福祉関係ですと、この地域福祉計画が今回から「支え合いのまち推進計画」という名称になりましたが、高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）、障害者福祉計画にもキャッチフレーズがございます。

(委員)

ありがとうございます。

(委員長)

他にどなたかいらっしゃいますか。なければ前に進めたいと思いますが、よろしいですか。

それでは、(2)の「支え合いのまち千葉推進計画」計画書等の配付について、事務局から説明をお願いします。

報告(2)「支え合いのまち千葉推進計画」計画書等の配付について

資料2『「支え合いのまち千葉 推進計画」計画書「美浜区支え合いのまち推進計画」パンフレット 主な配付先一覧』により、事務局【地域福祉課】の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

(事務局)【地域福祉課】

○6月3日に「支え合いのまち千葉推進計画」の計画書、「各区支え合いのまち推進計画」のパンフレットを各区推進協委員、社協地区部会、民生委員、町内自治会の皆様に発送した。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

ただいま「支え合いのまち千葉推進計画」計画書等の配付についての報告がありました。委員の方からご意見・ご質問がありますか。なければ前に進めたいと思いますが、よろしいですか。

<意見・質問はなし>

(委員長) それでは、報告の(3)「地域包括ケア推進課の新設と業務について」、地域包括ケア推進課より説明をお願いします。

報告(3) 地域包括ケア推進課の新設と業務について

別添資料『地域包括ケア推進課の新設と業務について』により、事務局【地域包括ケア推進課】の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

○厚生労働省が全国で推進する「団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築」を実現していくにあたって、「介護保険の保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく」ため、平成27年4月1日の組織改定により地域包括ケア推進課は設置された。

○地域包括ケア推進課は地域包括ケアシステム構築の柱である「あんしんケアセンターの機能強化」、「在宅医療・介護連携の推進」、「認知症施策の推進」をメインに行うとともに関連施策を推進する各所管課と連携していく体制となっている。皆様の地域での活動、支え合いのまち推進計画の取り組みが地域包括ケアシステム構築の大事な部分である。

- ・地域ケアシステム構築に中心的な役割を果たすあんしんケアセンターを6か所増設(平成29年度)。
- ・在宅医療・介護連携の推進のための「庁内連絡会議」、在宅医療・介護に関わる職種の代表者からなる「在宅医療推進連絡協議会」、各区単位での「多職種連携会議」の開催と「多職種連携会議」と個別ケースに対応している「地域ケア会議」の効果的融合への取り組み。
- ・認知症対策として、認知症相談窓口の設置、子どもたちへの啓発、かかりつけ医への研修、認知症サポート医・コーディネーターの養成と認知症初期集中支援チームの充実、認知症カフェの設置促進等への取り組み。
- ・平成29年4月移行の「新しい介護予防・日常生活支援総合事業」と地域のNPO法人や住民の活動を結びつける生活支援コーディネーターの養成(平成27年10月、各区1人)。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

報告の(3)「地域包括ケア推進課の新設とその業務について」説明があり

ました。何かご意見ご質問がありますか。

(委員)

私たちの町内でも見守りを行っている中で、最後には施設に入られる方が出てきています。施設入所の条件がはっきりわかるのであれば、出してあげれば良いと思うのですが。老々介護等で耐え切れなくなっている人もいて、そういう時、どういう条件ならば施設に入れるのか、また施設の計画はどうなっているのか、このあたりをお聞きしたいと思います。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

施設入所については非常に難しい問題だと思っています。介護保険の制度が前提にあるため、施設入所をご希望の場合は要介護認定を受けていただきます。要介護認定については保健福祉センターの介護保険室にお申し出いただくか、あんしんケアセンターにご相談いただけます。その方の状態に応じてどのようなサービスが使えるのか、どのようなサービスを使うことがその方の自立、尊厳の維持といった面で一番良いのか、あるいは介護保険の認定は受けたけれどもケアマネージャーが見つからないという場合にもあんしんケアセンターが相談に対応します。

また、施設整備については高齢障害部が中心となって行っており、3月に発表した千葉市高齢者保健福祉推進計画の中で、特別養護老人ホームのベッド数はどこまで増やすのか、グループホームの状況はどうなっているのかという説明とともに、将来の設置数も載せておりますので、計画の方をご覧ください。

特別養護老人ホームの入所については、今回の介護保険制度の改正で要介護3以上の方、と少し厳しくなりましたが、千葉市の場合、入所者のほとんどが要介護3以上であると伺っております。施設整備は市民の皆様の介護保険料に影響が及ぶこともあり、市では各種計画の中でバランスを見ながら計画的に推進させていただいているところです。

(委員)

ありがとうございます。ただ、最初をお願いする所があんしんケアセンターですと、途中で担当から外れたりするので、同じ方はずっとサポートしていただきたい。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

あんしんケアセンターは基本的にケアマネージャーにつなぐと一度はご縁が切れますが、その後、ご本人の状況が変わった際など、再度、ケアマネージャーとご本人の両方の相談に乗るといったシステムになっています。例えば、施設に入所されると施設のケアマネージャーがいますが、地域にいらっしゃる限り、あんしんケアセンターでは支援の必要な方という認識を持ち続けているので、切れ目はないと信頼していただきたいと思います。

(委員長)

他の委員の方はよろしいですか。

(委員)

介護保険でサービスを受けている方が、ヘルパー等が自分に合わないから変えたいとあんしんケアセンターに相談しても、事業所との関係が難しく思うようにいかず、泣き寝入りになってしまうという苦情を聞いています。もっと事業所の状況を調べて、どんなサービスを行っているのか知っておかなければならないのではないのでしょうか。

また、訪問医制度ですが、実際に幸町にできてはいるが、利用しようとしても医者がないということが多く、無いようなものになっているので、もっと充実させてほしい。気楽に訪問医をお願いできるような制度を強めていく必要があるのではないのでしょうか。これまでも、できるだけ地元の医者にかかるよう高齢者をお願いしているのですが、実際には遠くの病院まで行っている方が多く、幸町には診療所がありますが、こちらにかかっている人は半分以下です。これでは診療所間での連携は難しいのではないのでしょうか。行政で、地域にある病院、診療所を利用するよう働きかけたり、診療所でいざという時にベッドがない状況でも周りにある病院にベッドがあると紹介できるということを住民に知らせてほしいです。課題は多いし、それに対応する計画はいつできあがるのでしょうか。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

介護保険関係の事業所については介護保険課が指導に回っていますが、私どもにもいろいろなご意見があがってきますので、一緒にみていきたいと思えます。往診医の問題、これも非常に難しい問題で、特に介護保険を使おうとしてもなかなか主治医の意見書がとれないという声もいただいております。医師会の先生や保険医協会の方々と相談しながら、地域に出向いての診療に目を向けていただくため、学生のうちから啓蒙しようなどの意見も出ておりますし、在宅医療は大変で儲からないという意識を持っている先生も多いのですが、診療報酬の関係もあって必ずしもそうではない、そして現場に出ればやりがいを感じるという意見もいただいておりますので、少しずつでも増やしていきたいと考えております。いつできあがるのかという意見でしたが、長い目で見つつ、様々な情報を私どもにご提供いただけたらと思えます。

(委員)

特に幸町はエレベーターがない集合住宅に高齢者が住んでいて、体調が悪くなると出られなくなることがあります。そういう所でも電話をすれば誰かが来てくれるといった制度が早急に必要になってくるのではないのでしょうか。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

できるだけ急いで体制を整えたいと思えます。

(委員長)

いろいろな問題があると思いますが、他の方は何かありますか。

(委員)

千葉市で認知症の方が行方不明になったという放送がありますが、私たちもパトロールをしながら探しているのですが、その方が見つかったのかどう

かが分からないという状況です。見つかった際は「見つかりました、ご協力ありがとうございます」などの放送を入れてほしいと思います。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

同様のご意見をいただいております、防災無線を所管している所に掛け合っただけですが、防災無線は緊急時の放送であり、見つかったことは緊急ではないと考えられているようです。私どもも何度も伝えていますが、いざ津波がきた等の放送を入れた際に認知症の放送と思い、聞かないといけないのではないかなどの議論があり、今のところうまくいっておりません。ただ、放送が入ると熱心に探してくださる人が多く、情報もたくさん寄せられ、ほとんどの方が見つかっていますので、引き続き働きかけていきたいと思っています。皆様からもそういったお声が高まるようにご協力をお願いいたします。

(委員)

せめてお礼ぐらいはほしいですね。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

現在はホームページを見ていただかないと「見つかりました、ありがとうございます」というところに到達しない状況です。申し訳ありません。

(委員長)

他にはよろしいですか。

それでは議題の方に入ります。議題(1)の各地区部会エリアの重点取組項目についてお願いします。

議題(1) 各地区部会エリアの重点取組項目について

資料3『美浜区支え合いのまち推進計画(平成27~29年度)重点取組項目・取組内容検討状況』により、事務局【社協区事務所】の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

(事務局)【社協区事務所】

○各地区部会エリアで設定した重点取組項目について、現時点で検討、協議が進んでいる「具体的な取組内容」及び「主な取組主体」等を報告した。

○各地区部会エリアでの進め方は地域の実情に応じて様々であり、今後、状況に応じて、重点取組項目の変更や追加、主な取組主体の変更や追加があった際には、推進協において経過を順次ご報告させていただく。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

各地区部会の重点取組項目の説明がありました。これはすでに皆様が出されているものをまとめたものとなっておりますが、何か皆様からご質問ご意

見がありますか。

(委員)

重点取組項目としてこれだけあがったのはすごいことだと感心するのですが、全部で22の重点取組項目が出ており、重点取組項目として取り上げられていないものは、美浜区としてどう対応していくのかが問題点だと思います。どこか一か所でも行えばよいという問題ではありませんが、推進協で検討した方がよいのではないのでしょうか。

(事務局)【社協区事務所】

22項目中の地区部会エリアで取り上げていない項目については、やらなくてよいということではなく、あくまでも進捗状況を確認するために狭い地域、わかりやすい中学校区のエリアでこの3年間一番注力していただくところを選定していただいたところです。前回もお話ししたかもしれませんが、たまたま選ばれていないだけであって、選んでいただいている重点取組項目を進めていく上で、それが統合されたり、今回の項目に含まれたり、追加になるところが出てくると思いますし、そこから外れてしまっているものについては、推進協の場で皆様と検討させていただければと思います。

(委員長)

他にはありますか。

(委員)

幸町2丁目地区では、防災活動で避難所として学校の施設を使うことが具体的に進んでいます。それを加えてはいかがでしょうか。

(委員長)

避難所運営委員会のことですね。学校等の避難場所について、千葉市が避難所運営委員会を設置した自治会等に対して、その施設・避難場所の管理を委託するという制度です。「3.11」を契機に行い、幸町2丁目は千葉市内第1号となっています。幸町2丁目の重点取組項目にあがっていないからやっていないという訳ではありません。

こちらの進捗状況については中間報告をしていく必要があるのでしょうか。

(事務局)【高齢障害支援課】

27年度に入って間もない訳ですが、今回はこういった取り組みをしていきますということでご紹介させていただきました。今後、それぞれの地区部会エリアで実際の活動が始まってくるかと思えます。そうしましたら、その状況をご報告いただいたり、事務局で進捗状況を総合的にまとめさせていただいたり等を行っていきたいと思えます。

(委員)

この資料のようにまとめていただいて、説明していただくと大変ありがたいです。私はこの資料をほとんどヒアリングで作っていただいた次第で、大変お手数おかけしました。今後もこちらでまとめて提出ということが難しいので、ヒアリングでまとめていただきたいと思います。

(事務局)【社協区事務所】

第3期計画の中では、進捗状況というお話が出てきてしまうのですが、各地区を回っていて痛感するのが、地域事情によって積み上げ方が様々で、丁寧に積み上がっている地区もあれば、打瀬地区のように地域運営委員会が立ち上がり、それとの棲み分けを考えながら活動を進めている地区もあり、どんどん先に進んで具体的なところまで検討している地区もある、同じような歩調では進まないのだろうし、進めてはいけないというのが実感です。

今後は状況を見ながら、経過を報告させていただくことを考えております。ご意見のあったとおり、なるべく各地区へ出向いて、ヒアリングをしつつ、こちらの方でまとめさせていただこうかと思っています。

(委員)

打瀬地区での地域運営委員会というはどういったものでしょうか。

(委員)

打瀬地区に8か所ある自治会連合会が、それぞれで地域運営準備会を昨年立ち上げ、この4月から正式に地域運営委員会という形になりました。市からお金を交付していただいて、8団体で分けております。

(委員長)

他の地区でも地域運営委員会を立ち上げようという動きがありますが、地域運営委員会そもそもの説明をしていただけますか。

(事務局)【地域振興課】

地域運営委員会については、昨年度から各中学校区単位で地域の方々に関するいろいろな課題や情報交換をしていただくために、自治会、民児協、社協、スポーツ振興会、育成委員会の5団体と地域によってはNPOや学校などに対して、地域運営委員会を立ち上げてみませんかという説明をさせていただいています。高洲・高浜地区は規模が大きいので、まだ説明にあがっていないところです。磯辺地区は今年から説明に行かせていただこうかと考えています。他の地区については各1回説明を行っておりますが、1回ではご理解いただけないと思いますので、今年も区民対話会やいろいろな情報発信の場を通じまして、ご説明したいと思っております。美浜区において、地域運営委員会が設立したのは打瀬地区と幸町一丁目の2か所です。

(委員長)

よろしいですか。これから皆さんがまとめられた重点取組項目について取り組んでいただいて、進捗状況等をご報告いただいて、美浜区での活動をより一層高めていただければと思います。それでは議題の(2)介護予防事業「いきいき体操」のモデル実施についてお願いします。

議題(2) 介護予防事業「いきいき体操」のモデル実施について

資料4『介護予防事業「いきいき体操」のモデル実施について』、別添資料『市

政だより「介護予防特集号』により、事務局【健康課】の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

○いつまでも元気に地域で暮らしていただくために実施している介護予防事業について、介護保険制度の改正に伴い、介護予防に効果があると全国的に普及している体操を参考に見直し、『『いきいき体操』モデル事業』として、現在、保健福祉センターを会場に検証を行っている。

○体力に応じて重りを使って負荷をかけて行う筋力体操と栄養バランスの良い食事をとるために口の周りの筋肉をつけるための顔の体操を組み合わせたもので、今後、検証結果を報告していくが、地域で広めたいという団体があれば、健康課へお声かけいただきたい。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

介護予防事業「いきいき体操」のモデル実施について説明がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

(委員)

この事業は保健福祉センターで行っていますが、効果があるようでしたら、近くの公民館などでやっていただければ、参加しやすくなると思います。また重りが必要ということですが、どこで買えるのかも紹介しながら行えばよいのではないのでしょうか。

(事務局)【健康課】

皆様が歩いて行ける場所でこの運動を続けさせていただきたいと考え、公民館や自治会の集会場などを想定しております。重りにつきましては、販売されているものをお使いいただけますし、手作りでも紹介しようと思っております。

(委員長)

健康体操ですが、身近な所でできればいいですね。

他にはよろしいですか。それでは前に進めます。議題（3）美浜区認知症キッズサポーター養成についてお願いします。

議題（3）美浜区認知症キッズサポーター養成について

資料5-1『美浜区のこども達を認知症サポーターに育てます！』、資料5-2『平成27年6月17日（水曜日）に高洲第三小学校で「認知症キッズサポーター養成講座」を開催しました』により、事務局の説明後、質疑応答を行った。

<主な説明内容>

○美浜区の高齢化は急速に進んでおり、認知症のある人も増えていることから、子どもたちの思いやりの心で身近な認知症高齢者を応援し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、認知症キッズサポーター養成講座を開催する。

- ・対象は美浜区内の小中学校(合計29校)の小学生5,6年生と中学生全員で、平成27年度からの3年間で約8,800名のキッズサポーターを養成。
- ・美浜区の4あんしんケアセンターと高齢障害支援課の職員が各学校を会場に授業時間にあわせた講座を運営し、認知症の理解、認知症の方とその家族へどのような応援ができるか等の講義と終了後には裏面に通報・相談窓口を記載した認定証と認知症サポーターの証のオレンジリングの配付を行う。

<質疑応答：主な発言内容>

(委員長)

「美浜区認知症キッズサポーター養成」について説明がありました。小中学生のサポーター養成講座を行っていくものということでした。

ご質問・ご意見のある方はいらっしゃいますか。

(委員)

高洲第三小学校で行ったということですが、子どもたちの反応やそれ以降の変わり方はどうでしたか。

(事務局)【高齢障害支援課】

講座が開催された後、1週間から1か月の間に認知症について子どもたちに問いかけたり、様子を見ていただき、アンケートに記入していただくよう先生方をお願いをしています。まだ結果は出ておりませんが、それぞれの学校で実施した際の子どもたちの反応やアンケート結果は今後の参考にさせていただきたいと思っております。

(委員)

アンケートが集計されましたら、その結果をお知らせしていただくことは可能ですか。

(事務局)【高齢障害支援課】

どのような方法で発表するかはまだ検討課題ですが、ご報告したいと思っております。

(委員)

是非、よろしく申し上げます。

(委員長)

他にありますか。

(委員)

1コマ45分の講座を年何回行うのですか。

(事務局)【高齢障害支援課】

今回は各学校で1回です。美浜区内の小中学校29校を3年間で1回ずつ

行わせていただきます。その後に関しては、学校側の希望がありましたら、別の形でも継続させていただきたいと思っています。

(委員長)

よろしいですか。他にありますか。

(委員)

こういったデスクワークよりも実際に施設に連れて行った方が効果は高いと思います。小さい頃から施設に連れて行って少しずつお手伝いをする、そうしたことを中学校まで経験させていけば、もっと効果があるのではないのでしょうか。

(事務局)【地域包括ケア推進課】

昨年度、認知症のグループホームで小・中学生と高齢者との交流イベントを試み、その時は「同じことを何度も聞かれたけど普通に話せたよ」「一緒に歌を歌ったら楽しそうだった」という感想をいただきました。今年の夏も認知症サポーター養成講座とグループホームの体験、それからイラストと一緒に勉強してもらい、4回シリーズで認知症のパンフレットを作ることを子どもたちにお手伝いいただくなどのイベントを企画しています。認知症は怖い病気であるといった認識を植え付けてはいけないと思いつつも、直接、話していただくとう理解も深まりますし、素直な感想を持ってくれる子どもたちも多いので、これからも続けていきたいと思っています。

美浜区の取り組みは非常に斬新で、直接、触れ合う前に認知症のことを理解していただくということは必要ですので、そういう子どもたちが興味をもってくれたら、施設を訪問する機会を得られるように支援していきたいと考えております。

(委員長)

各小中学校で養成講座を行うということでした。保護者の方も参加できるようにしておけばいいですね。子どもと一緒に話し合ったり考えたりすれば効果が高いと思います。その他ご意見はないようですので、私の方からは終わりにしたいと思います。本日は、長時間にわたりご協力いただきありがとうございました。では、事務局にお返しします。

【4】その他

次回、第2回の推進協議会は、10月の開催を予定。

本日の会議録は、事務局が作成し、委員長、副委員長に確認いただいた後、議事要旨をインターネットにおいて、公開。

【5】閉会